

2026 年 8 月
No.494 号



2022



2024



2023



2025

採用活動の変容

森 直樹 (社長)



酷暑、真っ只中です。7 月前半は暑さも穏やかでしたが、名古屋では 40 度に達しそうな暑さの中、配送業務や倉庫業務で熱気にさらされながら仕事をする社員も社内にはおります。空調服などで多少の緩和はできますが、暑いものは暑いですね。環境面でできる限りのサポートは行っていますが、皆さん、体調管理には十分に気をつけていきましょう。現在、継続的に採用活動を行っており、名古屋の本社、東京オフィスともに営業職の増員を図っております。今後、採用が決まり次第、この「波紋」でも新人紹介という形で随時お知らせしていきます。採用活動も、これまでさまざまな方法を取ってきました。その一つに、AIO (AI 検索最適化) といわれるものがあります。AI を使って検索することが一般的になりつつあるこのご時世、求職活動においても AI を活用することが増えているそうです。そして、AI による検索で森松のこを見つけてもらいやすくするために、自社ウェブサイトの情報を充実させ、AI にも認識されやすくする取り組みが AIO です。そのために、自社についてさまざまな角度からアンケートや調査を行い、近日中にその内容をウェブサイト上に反映させることで、これまで接点を持つことのなかった層の求職者にも、森松を知ってもらえる機会を増やしていきます。すぐに効果が出るものではありませんが、これからの採用活動において、情報発信の起点となるのが自社ウェブサイトです。今後も、掲載する情報の質と量を向上させていきます。また、営業面においても、お問い合わせをいただくのはウェブサイトの問い合わせフォームからが中心です。採用とはまた異なる情報発信が必要ですが、現在でも確度の高いお問い合わせをいただけるのは、サイトに掲載されている情報が検索結果を通じて多くの方に見られていることにもつながっています。すぐに効果が出るものではないと言いましたが、半年後には成果が表れてくれることを願っております！



映画「マイケル」を観て、改めてマイケル・ジャクソンが世界の音楽史に残した偉大な功績を実感するとともに、若い頃の思い出が鮮やかによみがえりました。“キング・オブ・ポップ”と呼ばれた稀代のスーパースター、マイケル・ジャクソンがどのように誕生したのか。多くのことに傷つき、悩みを抱えた青年が、ジャクソン家という呪縛から解き放たれ、一人のマイケルとして歩み始める姿が、数々の名曲やエピソードとともに描かれていました。特に心に残ったのは、「スリラー」のミュージックビデオ制作のシーンです。若い頃に MTV で初めて観た時は衝撃的でした。それまでのミュージックビデオとはまったく違い、まるで 1 本の映画を観ているような感覚でした。この映画では、その制作の裏側やダンスの練習風景、細かな演出へのこだわりも描かれており、マイケルがどれだけ真剣に作品づくりに向き合っていたのかがよく伝わりました。「スリラー」は世界で最も売れたアルバムとして知られています。累計セールスは 1 億枚を超え、その時代をリアルタイムで体験し、何度も聴いていたことを思うと、とても感慨深いものがあります。また、マイケルを演じたジャファー・ジャクソンの演技も見事でした。実の甥でありながら俳優としての経験はほとんどないにもかかわらず、表情やしぐさ、歌やダンスまで驚くほど自然で、マイケル本人がスクリーンに戻ってきたような感覚になりました。ライブシーンはまさに圧巻で、ムーンウォークをはじめとする華麗なパフォーマンスはもちろん、会場の熱気や歓声まで伝わってくるような臨場感がありました。「ある瞬間はマイケルと一緒にステージにいて、次の瞬間には観客席にいる」という、映画ならではの体験も味わえ、まるで本物のマイケル・ジャクソンのコンサートを鑑賞しているような気分になりました。この映画はマイケル・ジャクソンの伝記映画ですが、晩年のスキャンダル疑惑などにはあまり触れられていない点は少し気になりました。それでも、“キング・オブ・ポップ”は唯一無二の存在であり、夢中で音楽を聴いていたあの頃の気持ちを思い出し、元気をもらえた映画でした。

家族が増えました！

伊東 義弥（特販部）



今年のゴールデンウィークに、生まれたばかりの子猫を新しく迎えました。名前は「ココ」。女の子です。きっかけは知人からの連絡でした。知人が車を動かそうとしたところ、エンジンルームから子猫の鳴き声が聞こえ、確認すると野良猫がその中で 3 匹の子猫を産んでいたそうです。無事に 3 匹とも救出できたものの、引き取り手を探しているとのことでした。

実は、わが家では以前にも猫を飼っていましたが、7 年という短い生涯で亡くなってしまい、悲しさや喪失感から、もう飼うことはないだろうと何となく思っていました。それでも今回の話を家族に相談すると、全員一致で「飼いたい」と賛成してくれたため、そのうちの 1 匹を引き取ることにしました。生まれたばかりの子猫の世話は想像以上に大変でした。まだ自分で食事ができないため、はじめのうちは 2 時間おきにシリンジでミルクを与える毎日。寝不足の日が続きましたが、妻と交代しながら給餌を続けました。しかし、うまくミルクを飲めず誤嚥してしまい、肺炎一歩手前の状態になってしまいました。病院を何軒も受診し、ようやく 3 軒目で信頼できる先生と出会えたこと、そしてちょうどミルクからふやかした子猫用フードへ切り替える時期だったことも重なり、少しずつ体調は回復してくれました。現在、わが家に来て約 2 か月。あれほど心配していたのが嘘のように、家中を元気いっぱい走り回り、おもちゃを追いかける姿を毎日見せてくれます。その姿を見るたびに、家族全員が笑顔になり、元気をもらっています。忙しい毎日の中では当たり前と感じてしまうこともありますが、一緒に過ごせる時間は決して当たり前ではありません。このご縁を大切にしながら、長く元気に過ごしてくれることを願っています。



はまっていること

齋藤 直（配送部）



スポーツジムに通っています。数年前から地元の体育館のジムで回数券を買い、時間を見つけて運動しています。通うようになったきっかけは、40代後半になり、老眼で小さな文字が見えにくくなったことや、腰などあちこちが痛くなったこと、中年太りが気になり始め、老いを感じるようになったことです。昔から体を動かすことは嫌いではないので、一人でもでき、運動不足の解消やストレス発散にも良いと思い通っています。ジムに着くと、まずストレッチを入念に行い、エアロバイクで軽く体を温めます。その後、マシンを使って筋力トレーニングを行い、YouTubeを見ながら腹筋トレーニングをします。最後にトレッドミルで30分ほどランニングをして汗を流し、ストレッチをして帰るのがいつものメニューです。だいたい2時間半ほどトレーニングをしています。トレーニングメニューは自己流で組んでいますが、息子も別のスポーツジムに通っているので、アドバイスをもらいながら取り組んでいます。ジムに通うようになってからは、食事やプロテインにも気を配るようになりました。ひと口にプロテインといっても配合されている成分はさまざま、筋肉をつけたいのか、痩せたいのか、健康維持が目的なのかなど、目指すものによって選び方も変わります。食事でもバランスを意識し、カップラーメンやジャンクフードはなるべく避けるようにしています。ただし、お酒だけはやめられませんが。今では体力がつき、体も軽くなってきたと感じています。ただ、腹筋を割りたいのですが、なかなか難しいです。子どもたちも大きくなり、自分の時間を持てるようになってきました。人生100年時代です。健康で長生きし、病気にならないよう、今のうちから気を付けていこうと思います。



おちょぼさん

橋野 徳明（製造部）



ゴールデンウィークの5月4日、友達に誘われて岐阜県海津市にある千代保稲荷神社（おちょぼさん）へ初めて行ってきました。商売をしている友達から、「商売繁盛の神様だから毎年お参りに行くんだ。それと、行ったら串カツを食べて帰るのが定番で、そこの串カツはおいしいよ」と聞いていました。私は商売とは縁がないので、商売の神様と聞いてもあまり興味はありませんでした。友達に誘われたときも、自分の中では初詣のように年に一度だけ出店が並ぶイベントのようなイメージでした。「今の時期でもやっているの?」と聞くと、「年がら年中やっているよ!」との返事でした。「何をしに行くの?」と聞くと、「参拝もするけど、串カツやどて串を食べ歩きに行くんだわ」と言われ、迎えに来てもらい10時30分頃に出発しました。助手席だったので、のんきに景色を眺めていました。だんだん近づくにつれて渋滞が始まり、駐車場に入るまでも時間がかかり、到着したのはお昼過ぎでした。東口大鳥居と南口大鳥居の2か所から入れるようですが、私たちは東口大鳥居から入りました。駐車場待ちの時点から、とにかく人が多く、想像していなかったので驚きました。鳥居をくぐる前から人で渋滞しており、自分が思っていた雰囲気とはまったく違いました。道幅は狭いものの、伊勢のおかげ横丁のような雰囲気で、観光客も多く、特に外国人の姿が目立ちました。前へ進むのもなかなか大変でした。友達から「ここが串カツ屋だよ。食べようか」と言われましたが、待っている人があまりにも多かったので、「全部見てから帰りに食べよう」ということになりました。その日は日差しも強く、人の熱気もあって、自分の中では「もういいわ、帰りたい」と思いながら歩いていました。一通り見て回り、戻ってくるのにもかなり時間がかかりました。それでも串カツとどて串は食べたかったので店へ向かいましたが、行きと変わらず大混雑。一気に食べる気がなくなっていました。それでもここまで来たので、「テイクアウトできるの?」と友達に聞くと、「できるよ」と教えてくれました。友達は「待ってでも食べていこう」と言いましたが、私のわがままで串カツとどて串をそれぞれ5本ずつテイクアウトして帰ることにしました。帰宅後、二人でアルコールを片手に温め直した串カツとどて串を食べました。「うまいじゃん!」と言いながらも、「やっぱりその場で食べた方がおいしいよなあ」と感じました。また串カツやどて串を食べに行きたいと言われると、そこまでではありませんが、おちょぼさんがどんな所なのかを知る良い経験になりました。

ぐっすり眠って夏を乗り切ろう！

質のよい睡眠が、
疲労回復や
熱中症予防にも
つながります♪

暑い夜が続くこの季節、「寝苦しくて何度も目が覚める」「朝起きても疲れが取れない」と感じることはありませんか？

良質な睡眠は、疲労回復や熱中症予防にもつながる大切な時間です。

今月は、**暑い夏でも快適に眠るためのポイント**をご紹介します。

快眠ポイント 1

エアコンは一晩中つけてもOK？

室温は26～28℃を目安に
タイマーで切るより、朝まで
快適な温度を保つ方が
眠りやすいと言われています。



Point 風が直接体に当たらないように
風向きを調整しましょう。

快眠ポイント 2

寝る1時間前は スマホをお休み

強い光は脳を目覚めさせるため、
寝つきが悪くなることがあります。

読書や**ストレッチ**が
おすすめです。



Point どうしても使う必要がある場合は、
画面の明るさを落としましょう。

快眠ポイント 3

ぬるめのお風呂で リラックス

38～40℃のお湯に
10～15分

体温がゆるやかに下がる
タイミングで、自然な眠気が訪れ、
ぐっすり眠りやすくなります。



Point 入浴は寝る1～2時間前に
済ませるのがベストです。

快眠ポイント 4

寝る前のおすすめドリンク

- 白湯（さゆ）
内臓を温めてリラックス効果
- カフェインレスハーブティー
ラベンダーやカモミールがおすすめ
- ホットミルク
トリプトファンが眠りをサポート



カフェインやアルコールは
控えめにしましょう。

快眠チェックリスト

できている項目にチェックを入れて、あなたの快眠習慣を見直してみましょう！

- | | |
|--|---|
| ☐ 毎日、朝起きる時間をそろえている | ☐ 寝る前にぬるめのお風呂に入る |
| ☐ 寝る前はスマホを見すぎない | ☐ 寝室は暗く、静かな環境を整えている |
| ☐ エアコンを適切に使っている（室温26～28℃を目安に） | ☐ 寝具やパジャマを快適なものにしている |
| ☐ 寝る前にストレッチをしている | ☐ カフェインやアルコールを控えている |
| ☐ 水分補給を忘れない（寝る前もコップ1杯） | ☐ 昼間に適度に体を動かしている |

チェックが **3つ以上** なら快眠習慣が身についています！

ワンポイントコラム

ローリングストックで 「食」も備えよう！

普段食べているレトルト食品や
缶詰などを少し多めに買い置きし、
日常で消費しながら買い足す方法です。
無理なく備蓄を続けられ、
非常時にも慌てず対応できます。



ちょこっとストレッチ

寝る前のリラックスストレッチ

肩を回す・首をゆっくり伸ばす・
深呼吸をするだけでも、
体がゆるみ、眠りやすくなります♪



毎日の「小さな工夫」が ぐっすり眠るための 大きな一歩になります。

自分に合った快眠習慣を見つけて、
毎日をもっと元気に
過ごしましょう♪



★ .. 自分に合った快眠習慣を見つけて、毎日をもっと元気に過ごしましょう♪ .. ★

レザークラフト

山田 圭子（森松産業）



以前から興味があり、「やってみたい」と思いつつ手が出せなかったレザークラフト。そのキットが発売されたので、作り始めました。このキットは隔週で発売され、必要な道具や革などがセットになっています。順番に購入していけば、最終的には製品が完成するという内容です。最初はキーリングの作成でした。革も必要なサイズにカットされており、2回分のキットで完成。「失敗することもなく、あっという間に革製品が作れて、『余裕じゃん…』」と思い、次のボディバッグ作りへ進みました。ところが、ここからキットの価格も高くなり、「まあ、革製品だから仕方ないか」と思いながら作り始めたものの、一度始めると完成するまでやめられない状態に…。毎回少しずつ作業を進める内容で、「革をカットして裏面を磨きましょう」「ボタン用の穴を開けて取り付けましょう」「縫い合わせましょう」といった工程が隔週でやってきます。最初は近くの本屋で購入できたのですが、今では取り扱いがなくなり、毎回ネットで注文しています。「ボディバッグを買った方が安いんじゃないか」と思いながらも、「いつかオリジナルの作品が作れるようになるはず」と自分に言い聞かせて隔週で購入。現在は十数巻まで進みましたが、まだ全体像は見えていません。本当に作りたい作品はまだ先です。そのため、必要な道具をそろえながらボディバッグを作り、「高っ…」と思う気持ちを落ち着かせています。その一方で、昔も同じような「集めるタイプ」の商品を買っては途中で諦めたことを思い出し、「今回も最後まで作れる気がしない…」と思う自分を奮い立たせながら、隔週少しずつ作業を続けています。完成したキーリングは長男が欲しいと言うので譲り、今は手元にありません。では、完成したボディバッグを自分で使うのかと考えると、「…本当に使うのか？」という気持ちもあります。それでも、なんだかんだで高額な手作りボディバッグです。一度は自分で使ってみたいと思っていますし、その後は長男か次男が使ってくれたらいいなあと思いながら、今日も少しずつ作っています。